

出題 順	問題文			正答	出題 ページ	配点	図
	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3				
53	逆ロスについての説明で正しいものはどれか。			1	53	1	
	あるべき在庫よりも実地棚卸の結果の在庫の方が多くなってしまった状態を逆ロスといい、その原因は何らか管理ミスによるものである	逆ロスとは期首在庫よりも期末在庫が過剰である状態をいい、あってはならない大きな問題であるため、期末在庫を再度調査すべきである	あるべき在庫よりも実地棚卸の結果の在庫の方が多くなってしまった状態を逆ロスといい、その原因はともかく利益に貢献しているので問題視することはない				
54	サイクル・カウントについての説明で正しいものはどれか。			2	61	1	
	実際に在庫を調べることに加えて、仕入れデータや販売データも取得することで理論在庫と実在庫との差、すなわちロスが発生しているか否かを確認することをサイクルカウントと呼び、年に数回の棚卸時に同時に行うこと	棚卸は店舗にある在庫をすべて調べるのと異なり、サイクルカウントは店舗の一部の在庫を調べる。またロスの原因を追究するなどの目的でより頻度を高くして在庫を調べる	多数の店舗を持つチェーン・ストアでは、一時期に全店舗の棚卸を行うことは困難であるために、年間を通じて、毎月、もしくは毎週異なる店舗の棚卸を行うこと				
55	店舗内で起きる不正行為についての説明で正しいものはどれか。			3	77	1	
	店舗内で商品を隠匿し代金を支払わずに持ち出す万引行為と、商品の値札を貼り変えるなどして不当に安い値段で支払いを済ませる行為、不正な返品などで金銭を得るような犯罪はすべて窃盗罪（刑法235条）にあたる	店舗内で商品を隠匿し代金を支払わずに持ち出す万引行為と、商品の値札を貼り変えるなどして不当に安い値段で支払いを済ませる行為は、窃盗罪（刑法235条）にあたり、また、不正な返品などで金銭を得るような犯罪は詐欺罪（刑法246条）にあたる	店舗内で商品を隠匿し代金を支払わずに持ち出す万引行為は窃盗罪（刑法235条）にあたり、商品の値札を貼り変えるなどして不当に安い値段で支払いを済ませる行為や不正な返品などで金銭を得るような犯罪は詐欺罪（刑法246条）にあたる				
56	「ロス対策士」検定試験制度についての以下の説明で正しいものはどれか。			1	補17/83	1	
	アメリカではLPP(ロス・プリベンション・ファウンデーション)が同様の資格試験制度があり、その制度を参考にして「ロス対策士」検定試験制度がつけられた	「ロス対策士」検定試験制度は、全国警備業協会の「防犯警備講習」の資格試験制度に沿って対象を小売業向けに設計したものである	「ロス対策士」検定試験制度は、防犯設備協会の「防犯設備士」の資格試験制度に沿って対象を小売業向けに設計したものである				
57	多くの店舗は、売場に従業員は少なく、お客は自由に商品に触れることができるが、この方式を何と呼ぶか。			2	95	1	
	セルフ・ショッピング	セルフ・サービス/セルフ・セレクション	フリー・ショッピング				
58	EAS（日本語では電子式物品監視装置）についての説明で正しいものはどれか。			3	120	1	
	EASはアンテナ、商品に取り付けるタグ、防犯カメラからなる	EASとは防犯カメラにAIを利用して通過客の顔を認識、識別できる機器である	EASはアンテナ、商品に取り付けるタグ、タグを電氣的に無効にする消去器、解除器からなる				
59	万引犯に対する損害賠償請求についての以下の説明で正しいものはどれか。			2	153	1	
	万引犯を逮捕した後に警察に通報せずに損害賠償請求することができる	店長らが万引犯を脅迫していると誤解されないように、損害賠償請求は被害にあった店舗ではなくチェーン本部から送付することが望ましい	損害賠償請求の範囲は、損害商品金額、什器・備品破損金額に限られる				
60	オムニチャネル化について以下の説明で正しいものはどれか。			1	14	1	
	当初はネットで通信販売の一種と見なされてきたインターネットを利用した商品を販売する企業が、実店舗の運用を行い、一方で実店舗を持つ企業が、ネット販売に進出し、利用する側にとっても店舗とネットの境目がなくなってきたこと	インターネットを利用した販売方法で、自宅を含む指定の場所に商品を届けるサービスと、インターネットで注文した商品を店舗で受け取るBOPIS（Buy Online Pickup In Store）サービスを融合したもの	ネットビジネスで業容を拡大した企業が実店舗を持ち、両方の分野でビジネスを行うことを指す。一方で、最初から実店舗を持つ企業（例えばスーパーマーケット企業など）がネットビジネスに進出することは含まれない				
61	日本の多くの小売企業で採用されている棚卸資産の評価法はどれか。			2	36	1	
	先入先出法	売価還元法	平均法				
62	売価還元法粗利益率と不明ロス率の両方を求めるために必要な数値はどれか。			1	36	1	
	期末在庫高(売価)	期中仕入高(売価)	期首在庫高(売価)				
63	次の表で示されたものの中に逆のロスの例はいくつあるか。			2	53	1	○
	2例	3例	4例				

Q63

商品名	期首実在庫数量	期中入荷数量	期中販売数量	期末実在庫数量	
A	54	22	20	55	ロス = 54 + 22 - 20 - 55 = 1
B	23	33	36	22	ロス = 23 + 33 - 36 - 22 = -2 (逆ロス)
C	18	44	45	19	ロス = 18 + 44 - 45 - 19 = -2 (逆ロス)
D	32	29	31	31	ロス = 32 + 29 - 31 - 31 = -1 (逆ロス)
E	9	17	16	8	ロス = 9 + 17 - 16 - 8 = 2

64	管理ミスについての説明で正しいものはどれか。			3	55	1	
	監査は是正処置を行うことで管理ミスの再発を防ぐことができるので監査の回数を増やすなどの対策で十分である	管理ミスを防ぐには教育が不可欠であり、経験者から新たな担当者に個々に経験者が行っている手順を正しく伝え教えることが最も確実である	管理ミスを未然に防ぐには業務プロセスが決められた手順で確実に実施されなくてはいけない、そのためにはマニュアルの整備が不可欠である				
65	犯罪ではなくとも、店舗のルールに従わない来店者の迷惑行為（禁煙場所での喫煙など）に対して、中止や退店を促すことができる			1	78	1	
	施設管理権	施設安全管理権	施設保護保全権				
66	「グループで計画的に店舗を狙った窃盗などの犯罪行為を繰り返し、不当に得たものを換金して現金などを得ること」などを「小売業への組織的犯罪」をなんと呼ぶか。			2	83	1	
	GRC (Group Retail Crime)	ORC (Organized Retail Crime)	GRT (Group Retail Theft)				
67	ロス・プリベンションを学ぶ必要のある者についての説明で正しいものはどれか。			2	104	1	
	小売業におけるロス・プリベンションの専門家を育成することを最優先で行うことが必要で、他の部署や小売業以外の人間は学ぶ必要はない	小売業に携わる人間だけでなく、小売業以外の関係する企業の人間もロス・プリベンションを学ぶ必要がある	小売業に携わる者はロス・プリベンションを学ぶ必要はあるが、小売業以外の企業の人間は学ぶ必要はない				
68	ロス・プリベンションへの認識（アウェアネス）を高めるための教育の基本は商品管理と「5S」である。トヨタ流改革でよく知られているものであるが、それでは「5S」とは何か。			3	110	1	
	信頼・整理・整頓・清掃・成功	信頼・整理・清潔・しつけ・正直	整理・整頓・清掃・清潔・しつけ				
69	子細な不具合を放置すると、やがてその店（街）全体が荒れ放題になってしまい、場合によっては万引などの不正行為が多発してしまいかねない。このようなことを説明する理論を何と呼ぶか。			3	163	1	
	荒廃理論	廃墟理論	割れ窓理論				
70	小売業の在庫管理に関する説明で正しいものはどれか。			1	13	1	
	小売業の特徴として取り扱う商品の種類が多いことがある。したがって在庫管理は大変難しいといえる。しかし、商品の欠品は販売機会を失うだけではなく顧客の信頼を失うことにつながる。それを防ぐには十分な在庫を多く持つことと同時に、過剰在庫で、値引きや廃棄処分にならないように注意が必要である	小売業の特徴として取り扱う商品の種類が多いことがある。したがって在庫管理は大変難しいといえる。しかし、商品の欠品は販売機会を失うだけではなく顧客の信頼を失うことにつながる。ただし、販売量の多い商品だけは欠品させないことを最優先とするが、他の商品は過剰在庫を持たず、ある程度欠品してもやむを得ない	小売業の特徴として取り扱う商品の種類が多いことがある。したがって在庫管理は大変難しいといえる。しかし、商品の欠品は販売機会を失うだけではなく顧客の信頼を失うことにつながる。従って余剰がでて十分な在庫を持つべきである				